

## 令和3年 筑後市地域自立支援協議会 全体会

開催日時：令和3年6月30日（水）15：00～16：30

出席者（事業所）

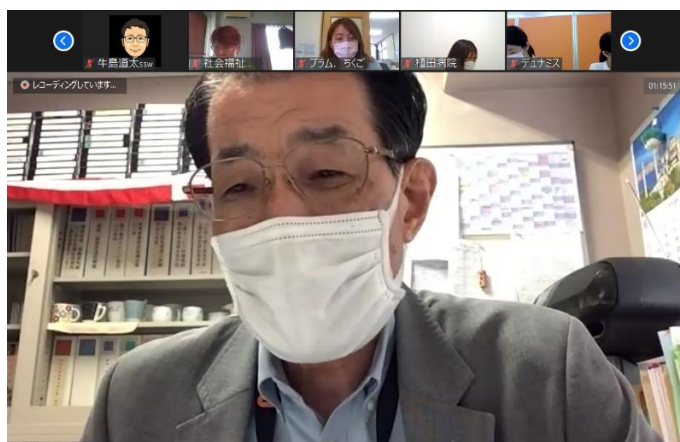
デュナミス、プラムの小径、手をつなぐ育成会、タマアグリ、和水想、さんふらわあ筑後、はうす  
発達障害者支援センターあおぞら、わかたけ作業所、自立生活センターちくご、筑後市ホームヘルプ、はねっこ  
年輪の園、浩明寮・仁爱荘、ほがらかホーム、赤坂園、よろず屋、放課後等デイサービスちゃおちゃお、  
筑後特別支援学校、筑後市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、放課後等デイサービス yellow、  
子育て世代包括支援センター、トワ・エ・モア、植田病院、八女地区障害者地域生活支援拠点センターすいれん  
ココ kara、県南障害者サポートセンター、南筑後保健福祉環境事務所、家庭児童相談室、  
相談支援事業所ちゃおちゃお、相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所プラム.ちくご、ぱあとなあ福岡、  
筑後市役所福祉課、筑後市社会福祉協議会、相談支援事業所ちくたくネット、事務局

★ 今回は、感染対策として ZOOM にて開催しました。30 事業所以上の参加があり、総勢 50 名ほどの研修会となりました。

★ 筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科  
心理・社会福祉専攻 教授 山崎安則様より  
「地域共生社会の実現に向けて」というテーマ  
で講演していただきました。

制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」

という従来の関係を超え「人と人」「人と社会」がつながり、一人一人が生きがいや役割を持つことが重要性であること、誰もが助け合いながら地域で暮らしていくことができるソーシャルインクルージョンの実現に向け、どのように私たちが参画していけばいいのか？などについて話していただきました。



★ 講義に対する感想

「大変勉強になった。受け身ではなく、こちらから働きかけをしていき、社会を変える意識を持つことが大事だと思った。横のつながりを深め、顔の見える関係性を築いていけたらと思った。」と前向きな意見が多く寄せられました。また「制度の狭間にいる方に対応できるよう、常に様々な情報に敏感であることの重要性について学ぶことが出来た」との意見もありました。

今回の講演を通じて筑後市として自立支援協議会の活動を地域共生社会の実現に向けてどのように反映・連動させていくのか、私たちが出来ること、しなければならないことを考える機会となりました。